資料 4 - 6 - ② 関東地方整備局 事業評価監視委員会 平成23年度第2回

(再評価)

# 一般国道 4 6 8 号 首都圏中央連絡自動車道 (海老名~厚木)

平成23年8月11日 国土交通省 関東地方整備局 中日本高速道路株式会社

# 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その 他の別
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (海老名~厚木)	L=10.1 km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
40, 800~46, 300	4	関東地方整備局 中日本高速道路(株)

### ① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成23年度	
単純合計	2, 123億円	321億円	2, 444億円
うち残事業分	700億円	321億円	1,021億円
基準年における 現在価値(C)	2,368億円	130億円	2, 498億円
うち残事業分	673億円	130億円	803億円

#### ② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計	
基 準 年		平成23年度			
供 用 年		平成25年	<b>手度</b>		
単年便益 (初年便益)	183億円	26億円	18億円	227億円	
基準年における 現在価値(B)	3,803億円	540億円	361億円	4, 704億円	
うち残事業分	3,803億円	540億円	361億円	4, 704億円	

#### ③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1.9
経済的純現在価値(事業全体)	2, 205億円
経済的内部収益率 (事業全体)	7. 2%
費用便益比(残事業)	5. 9
経済的純現在価値(残事業)	3,900億円
経済的内部収益率(残事業)	31. 8%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

#### ④ 感 度 分 析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	40,800~46,300 (台/日)	±10%	1.7~2.1
事業費	2, 123億円	±10%	1.8~1.9
事業期間	22年	±1年	1.8~1.9

#### ④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	変動要因    基準値		費用便益比 (B/C)
交通量	40,800~46,300 (台/日)	±10%	5. 3~6. 6
事業費	700億円	±10%	5. 4 <b>~</b> 6. 4
事業期間	1年	±1年	5. 7 <b>~</b> 5. 9

### 交通状況の変化

# 事業名:首都圏中央連絡自動車道(海老名~厚木) (事業全体・残事業)

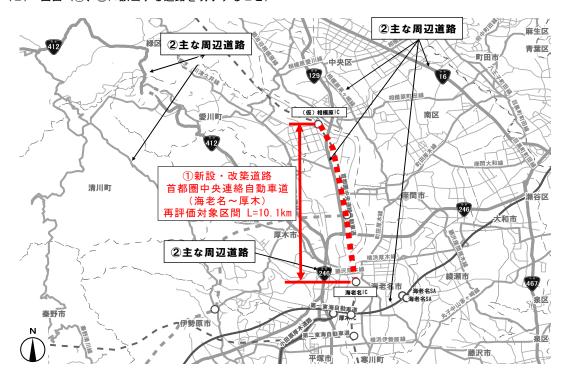
(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設·	改築道路	交通量	[台/日]	-	43, 500
[バイパス	ス等]	走行時間	[分]	-	9
10. 1	km	走行時間費用	[億円/年]	-	77. 02
	東名高速道路	交通量	[台/日]	125, 400	122, 500
	37. 2	走行時間	[分]	38	37
	km	走行時間費用	[億円/年]	939. 20	899. 37
	国道129号	交通量	[台/日]	60, 300	53, 600
	8. 1	走行時間	[分]	15	14
	km	走行時間費用	[億円/年]	177. 02	144. 90
	国道246号	交通量	[台/日]	51, 400	44, 400
	7. 1	走行時間	[分]	13	12
	km	走行時間費用	[億円/年]	135. 26	107. 27
	国道412号	交通量	[台/日]	13, 400	10, 500
②主な周 辺道路	18. 3	走行時間	[分]	34	32
	km	走行時間費用	[億円/年]	93. 17	66. 20
	(主)伊勢原津久井線	交通量	[台/日]	7, 300	4, 800
	14. 9	走行時間	[分]	32	31
	km	走行時間費用	[億円/年]	46. 65	28. 91
	(主)相模原 茅ヶ崎線	交通量	[台/日]	15, 000	12, 600
	7. 1	走行時間	[分]	15	14
	km	走行時間費用	[億円/年]	42. 61	32. 29
	国道16号	交通量	[台/日]	73, 100	71, 900
	4. 6	走行時間	[分]	9	8
	km	走行時間費用	[億円/年]	117. 32	114. 19
③その他	道路合計				
	7, 346. 5km	走行時間費用	[億円/年]	60, 304. 48	60, 192. 47

				走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計	7, 453. 9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	61, 855. 71	61, 662. 62	193. 09

<sup>※</sup>四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

#### (2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



# 費用便益分析の条件

事業名:首都圏中央連絡自動車道(海老名~厚木)

(2)

	項目		
		費用便益分析マニュアル	_
算	算出マニュアル	(平成20年11月 国土交通省 道路局 都市·地域整備局)	
		その他	
		分析対象期間	50年間
分析	折の基本的事項	社会的割引率	4%
		基準年次	平成23年度
	交通流の	1時点のみ推計	<b>■</b> (H42)
	推計時点	複数時点での推計	
		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	1// = 1 = 15 ×=	整備の有無のいずれかのみ推計	□有□無
	推計の状況	いずれかのみいずれかのみの推計とした理由を記載	
lL		の推計の場合	
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表	
	推計に用いた	(三段階推定法)	(H17センサス)
	在副に用いた OD表	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	
	ODA	(四段階推定法)	
		その他( )	
交		無	
通	開発交通量の 考慮	有	
流		考慮した開発交通量(トリップ数)	( )台トリップ/日
推		有の場合のみ考慮した理由を記載	
計			
		QーV式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	_
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
	カルナス目の	簡易手法	
	配分交通量の 推計手法	小規模事業である 簡易手法の しままない はなる パスプログラム	
	推引于本	山間部海岸部で併行道路が少ない	
		(その他( ) )	
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
		その他( )	П
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定	
		採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量	
		等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出に ずる「加重平均速度」を用いた。	おいては、速度差の生
	速度設定の	り 心 加里十均还及」で用いた。	
	考え方	  最終配分の速度	П
		採用理由を記載	
		その他( )	

(3)

			項目	チェック欄
		考慮しない		
		考慮する		
	// <del>-</del>		面的に考慮	
	休日交通の		対象路線のみ考慮	
	影響	考慮する 場合のみ		( ) %
		物口 0.707	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考える	方を記載
		考慮しない		<b>—</b>
		<u> </u>		
		<u> </u>	採用した通行止め日数	( ) 目
	災害等による		採用した通行上の日数  採用した通行止の日数の考え方を記載	<u> </u>
	通行止めの	* <del>*</del> * * * * * * * * * * * * * * * * *	James Carlotta State State Carlotta	
	影響	考慮する 場合のみ		
		221000	とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合	┃
			こう正の又 過で 句 思しない 物 口は との 生 田、 句 思した 物 口	はくの方えりで心戦
				_
		考慮しない		
		考慮する		
	冬期交通の 影響		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
便益		考慮する 場合のみ		
益の			冬期の走行速度と交通容量の関係  設定の考え方を記載	
質			放足の名人力を記載	
算定	<b>キタオ#</b> コの	ブロックローオ	 	<b>—</b>
	交通流推計の 時点以外の		種別走行台キロの伸び率による設定	•
	一時点の1760   便益の算定	その他	)	
		*************************************		
	車種別時間	独自に設定し		_
	価値原単位	独自に放んし	<b>万に旧で区川</b>	
		費用便益分類		
	車種別走行	独自に設定し		
	経費原単位	<u> </u>	万に 世で   大川	
		中央分離帯(	の有無を考慮	
	便益算定		の有無を考慮しない	
		考慮しない	ンドミング	<u> </u>
	定行时间短椭 ° 定   行経費減少 • 交通	考慮する		
	事故減少以外の便			
	益			
	その他			

# 事業名:首都圏中央連絡自動車道(海老名~厚木)

(4)

		項目	チェック欄
		詳細事業計画による値を採用	
	事業費	標準投資パターンを採用	
費		その他( )	
用	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
の	作符合任具	中日本高速道路(株)の維持管理計画に基づいて設定	
算	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	
定	その他		
4.	その他		

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

所名:首都圏中央連	絡自動車	道(海老名	~厚木)(雪	事業全体)	維持管理費の単編 単価(億円)	延長(km)	単純価値(億
					_	10.1	
		割戻率	GDP	事業費		維持管理	
年次	年度		デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-22年目	H 3	2.1911	102.0	2.84	5.50		
<u>-21年目</u>	H 4	2.1068	103.4	5.31	9.74		
<u>−20年目</u>	H 5	2.0258	103.7	6.85	12.05		
<u>-19年目</u>	H 6	1.9479	103.6	5.08	8.59		
-18年目	H 7	1.8730	103.0	5.22	8.55		
<u>-17年目</u>	H 8	1.8009	102.4	10.08	15.96		
-16年目	H 9	1.7317	103.4	1.81	2.73		
-15年目	H 10	1.6651	102.8	38.16	55.63		
-14年目	H 11	1.6010	101.3	88.10	125.32		
-13年目	H 12	1.5395	99.7	76.82	106.75		
-12年目	H 13	1.4802	98.4	81.10	109.80		
-11年目	H 14	1.4233	96.6	81.81	108.49		
-10年目	H 15	1.3686	95.4	77.45	100.00		
-9年目	H 16	1.3159	94.4	162.30	203.62		
	H 17	1.2653	93.2	142.01	173.52		
	H 18	1.2167	92.5	167.44	198.22		
<u>-6年目</u>	H 19	1.1699	91.7	110.18	126.50		
	H 20	1.1249	91.2	93.68	103.99		
<u>-4年目</u>	H 21	1.0816	90.0	49.28	53.30		
-3年目	H 22	1.0400	90.0	51.53	53.59		
<u>-2年目</u>	H 23	1.0000	90.0	165.42	165.42		
	H 24	0.9615	90.0	700.48	673.54	F 70	_
供用開始年度	H 25	0.9246	90.0			5.78	5.:
<u>1年目</u>	H 26	0.8890	90.0			5.88	5.:
2年目 2年日	H 27	0.8548	90.0			5.91	5.0
3年目 4年日	H 28 H 29	0.8219	90.0			5.96	4.
4年目 5年目	H 29 H 30	0.7903 0.7599	90.0 90.0			5.97 6.01	4.
	H 31	0.7399	90.0			6.05	4.4
0 <u>年日</u> 7年目	H 32	0.7026	90.0			6.05	4.4
	H 33	0.7026	90.0			6.09	4.
9年目	H 34	0.6496	90.0			6.10	3.9
10年目	H 35	0.6246	90.0			6.11	3.8
11年目	H 36	0.6006	90.0			6.15	3.0
12年目	H 37	0.5775	90.0			6.23	3.0
13年目	H 38	0.5553	90.0			6.28	3.4
14年目	H 39	0.5339	90.0			6.33	3.5
15年目	H 40	0.5134	90.0			6.37	3.2
16年目	H 41	0.4936	90.0			6.42	3.
17年目	H 42	0.4746	90.0			6.46	3.0
18年目	H 43	0.4564	90.0			6.48	2.9
19年日	H 44	0.4388	90.0			6.52	2.5
20年目	H 45	0.4220	90.0			6.56	2.
21年目	H 46	0.4057	90.0			6.58	2.0
22年目	H 47	0.3901	90.0			6.62	2.
23年目	H 48	0.3751	90.0			6.62	2.4
24年目	H 49	0.3607	90.0			6.62	2.3
25年目	H 50	0.3468	90.0			6.65	2.5
26年目	H 51	0.3335	90.0			6.69	2.
27年目	H 52	0.3207	90.0			6.74	2.
28年目	H 53	0.3083	90.0			6.74	2.0
29年目	H 54	0.2965	90.0			6.76	2.0
30年目	H 55	0.2851	90.0			6.72	1.
31年目	H 56	0.2741	90.0			6.69	1.5
32年目	H 57	0.2636	90.0			6.68	1.
33年目	H 58	0.2534	90.0			6.66	1.0
34年目	H 59	0.2437	90.0			6.63	1.
35年目	H 60	0.2343	90.0			6.59	1.
36年目	H 61	0.2253	90.0			6.55	1.4
37年目	H 62	0.2166	90.0			7.64	1.
38年目	H 63	0.2083	90.0			6.57	1.3
39年目	H 64	0.2003	90.0			6.54	1.3
40年目	H 65	0.1926	90.0			6.51	1.3
41年目	H 66	0.1852	90.0			6.49	1.3
42年目	H 67	0.1780	90.0			6.47	1.
43年目	H 68	0.1712	90.0			6.43	1.
44年目	H 69	0.1646	90.0			6.41	1.0
45年目	H 70	0.1583	90.0			6.39	1.0
46年目	H 71	0.1522	90.0			6.35	0.
47年目	H 72	0.1463	90.0			6.34	0.
48年目	H 73	0.1407	90.0			6.31	0.
49年目	H 74	0.1353	90.0	-389.72	-52.73	6.28	0.
Λ =1				4=			
合 計	·			1733.24	2368.07	320.98	130.1

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 プラネミグリス 泉イン シーム、泉イルビニンボーン・ボーデーにして いたじに ボーロック はくい かずしも 全体の予算 削約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・エ事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

<sup>(</sup>投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

箇所名:首都圏中央連絡自動車道(海老名~厚木)(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)

延長(km) 単純価値(億円)

		ᇓᆖᅩ	65-	+ 411. <del>41.</del>	//安尼\	10.1	一
/= \hr	左曲	割戻率	GDP =`¬ıh	事業費		維持管理	
年次 -22年目	年度 H 3	2.1911	デフレータ 102.0	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
	H 3	2.1911	102.0				
-20年目	H 5	2.0258	103.7				
-19年目	H 6	1.9479	103.6				
-18年目	H 7	1.8730	103.0				
-17年目	H 8	1.8009	102.4				
-16年目	H 9	1.7317	103.4				
-15年目	H 10	1.6651	102.8				
-14年目	H 11	1.6010	101.3				
	H 12	1.5395 1.4802	99.7 98.4				
-12年日	H 13	1.4802	96.6				
-10年目	H 15	1.3686	95.4				
-9年目	H 16	1.3159	94.4				
-8年目	H 17	1.2653	93.2				
-7年目	H 18	1.2167	92.5				
-6年目	H 19	1.1699	91.7				
-5年目	H 20	1.1249	91.2				
-4年目	H 21	1.0816	90.0				
-3年目	H 22	1.0400	90.0				
<u>−2年目</u> −1年目	H 23	1.0000 0.9615	90.0 90.0	700.48	673.54		
世界 世界開始年度	п 24 Н 25	0.9246	90.0	700.40	073.34	5.78	5.34
1年目	H 26	0.8890	90.0			5.88	5.23
2年目	H 27	0.8548	90.0			5.91	5.05
3年目	H 28	0.8219	90.0			5.96	4.90
4年目	H 29	0.7903	90.0			5.97	4.72
5年目	H 30	0.7599	90.0			6.01	4.57
6年目	H 31	0.7307	90.0			6.05	4.42
7年目	H 32	0.7026	90.0			6.05	4.25
8年目 9年目	H 33	0.6756 0.6496	90.0 90.0			6.09 6.10	4.11 3.96
10年目	H 35	0.6246	90.0			6.11	3.82
11年目	H 36	0.6006	90.0			6.15	3.69
12年目	H 37	0.5775	90.0			6.23	3.60
13年目	H 38	0.5553	90.0			6.28	3.49
14年目	H 39	0.5339	90.0			6.33	3.38
15年目	H 40	0.5134	90.0			6.37	3.27
16年目	H 41	0.4936	90.0			6.42	3.17
17年目	H 42	0.4746	90.0			6.46	3.07
18年目	H 43	0.4564	90.0			6.48	2.96
19年目	H 44 H 45	0.4388 0.4220	90.0			6.52 6.56	2.86 2.77
20年目 21年目	H 46	0.4220	90.0 90.0			6.58	2.77
22年目	H 47	0.4037	90.0			6.62	2.58
23年目	H 48	0.3751	90.0			6.62	2.48
24年目	H 49	0.3607	90.0			6.62	2.39
25年目	H 50	0.3468	90.0			6.65	2.31
26年目	H 51	0.3335	90.0			6.69	2.23
27年目	H 52	0.3207	90.0			6.74	2.16
28年目	H 53	0.3083	90.0			6.74	2.08
29年目	H 54	0.2965	90.0			6.76	2.00
30年目	H 55	0.2851	90.0			6.72	1.92
31年目	H 56 H 57	0.2741 0.2636	90.0			6.69	1.83
32年目 33年目	H 58	0.2534	90.0 90.0			6.68 6.66	1.76 1.69
34年目	H 59	0.2437	90.0			6.63	1.62
35年目	H 60	0.2343	90.0			6.59	1.54
36年目	H 61	0.2253	90.0			6.55	1.48
37年目	H 62	0.2166	90.0			7.64	1.65
38年目	H 63	0.2083	90.0			6.57	1.37
39年目	H 64	0.2003	90.0			6.54	1.31
40年目	H 65	0.1926	90.0			6.51	1.25
41年目	H 66	0.1852	90.0			6.49	1.20
42年目 43年日	H 67	0.1780	90.0			6.47	1.15
43年目 44年目	H 68	0.1712 0.1646	90.0 90.0			6.43 6.41	1.10 1.06
45年目	H 70	0.1583	90.0			6.39	1.00
46年目	H 71	0.1522	90.0			6.35	0.97
47年目	H 72	0.1463	90.0			6.34	0.93
48年目	H 73	0.1407	90.0			6.31	0.89
49年目	H 74	0.1353	90.0	-1.61	-0.22	6.28	0.85
A =1							
合 計				698.87	673.32	320.98	130.10
単純事業費計				700.48		320.98	
				し アホウ たも			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

定表	
直算5	
在值	
の現	
便益	

首都圈中央連絡自動車道(海老名~厚木)(事業全体・残事業)

箇所名:

メントニュー ア・ーン	1	ĭ																		
7	年度	総走行	総走行台キロの年次別伸び率	引伸び率	割戻率	GDP デンソータ	ıι≺	走行時間短縮便益(億円)	便益(億円)			114	走行経費減少便益(億円)	便益(億円)		-cal	事故減少便益(億円)	乾(億円)	<b>√</b> □	章 (第田)
	_	÷	(関東臨海ブック)	(1) + +				1. 7.	4 分	1	現在価値		1. 1. 1.	节分分	1	4m1 .	(	現在価値		現在価値割り
年次 	7	.類 小型真物 63 0 00479	普通真物 1 00001	王 1	(A)	0	来用単親	//空貞物	普通真物 62.70	18.9.77	(A) X (D)	来用単類 15.64	//空貞物	青畑貞初 7.60	(Z) alt	(A) X (Z)	3 17 00	3 × (A)	((E)~()) 07 96 70	割51举4%
年目	26 1.	+	1.00795	1. 00082	0.8890	0.06	92.56	27.41	63.20	183.18	162.85	15.65	2.87	7.66	26.18	23.27	17.92	15.93	227.28	202.05
2年目 H	27	63 0.99466	1.00789	1. 00082	0.8548	90.0	92.62	27.27	63.71	183.60	156.94	15.66	2.86	7.72	26.24	22.43	17.93	15.33	227.76	194.69
3年目 H	28 1.	-	1.00783	1.00081	0.8219	90.0	92.68	27.12	64.21	184.01	151.24	15.67	2.84	7.78	26.29	21.61	17.95	14.75	228.25	187.60
	29 1.	o'	1.00777	1. 00081	0.7903	0.06	92.74	26.98	64.71	184.43	145.76	15.68	2.83	7.84	26.35	20.82	17.96	14.20	228.74	180.77
	30	+	1.00771	1. 00081	0.7599	90.0	92.80	26.83	65.22	184.84	140.47	15.69	2.81	7.90	26.40	20.06	17.98	13.66	229.22	174.19
6年目 H	31	$\dashv$	4	1. 00081	0.7307	90.0	92.86	26.68	65.72	185.26	135.37	15.70	2.80	7.97	26.46	19.33	17.99	13.15	229.71	167.84
7年目 H	32 1.001/5	75 0 99529	1.01063	1.00219	0.7026	0.06	92.92	26.54	66.22	185.68	130.45	15.71	2.78	8.03	26.51	18.63	18.01	12.65	230.19	161.73
	34	+	1.01032	1 00218	0.0730	0.06	93.00	26.74	67.63	187 16	121.57	15.76	27.5	8 20	26.71	17.35	18.08	11.75	231.06	150.67
	35	+	+	1 00218	0.6246	0.00	93.40	26.16	68.33	187.90	117.36	15.79	2.73	8.28	26.81	16.75	18 12	11.32	237.84	145 43
	36	╫	+	1 00217	0.0240	0.06	93.57	26.04	69.04	188 64	113.29	15.82	2.73	8.37	26.91	16.16	18.16	10.91	233.72	140.36
	37	╁	1, 01009	1,00217	0.5775	0.06	93.73	25.91	69.74	189.38	109.36	15.84	2.72	8.45	27.01	15.60	18.20	10.51	234.60	135.47
	38	┢	1.00999	1. 00217	0.5553	0.06	93.89	25.79	70.44	190.12	105.57	15.87	2.70	8.54	27.11	15.05	18.24	10.13	235.48	130.75
	39	0	1. 00989	1. 00216	0.5339	0.06	94.05	25.66	71.15	190.87	101.90	15.90	2.69	8.62	27.21	14.53	18.28	9.76	236.36	126.19
15年目 H	40 1.	0.	1.00980	1. 00216	0.5134	0.06	94.22	25.54	71.85	191.61	98.37	15.93	2.68	8.71	27.31	14.02	18.32	9.41	237.24	121.79
16年目 H		72 0.99509	1.00970	1.00215	0.4936	0.06	94.38	25.41	72.56	192.35	94.95	15.95	2.66	8.79	27.41	13.53	18.36	90.6	238.12	117.54
17年目 H		76 0. 99372	1.00237	0.99259	0.4746	90.0	94.54	25.29	73.26	193.09	91.65	15.98	2.65	8.88	27.51	13.06	18.40	8.73	239.00	113.44
18年目 H	43		1.00236	0.99253	0.4564	90.0	93.57	25.13	73.43	192.14	87.69	15.82	2.63	8.90	27.35	12.48	18.26	8.34	237.75	108.51
19年目 H		-	1.00236	0.99248	0.4388	0.06	92.60	24.97	73.61	191.18	83.90	15.65	2.62	8.92	27.19	11.93	18.13	7.95	236.50	103.78
	45		1.00235	0.99242	0.4220	90.0	91.63	24.81	73.78	190.23	80.27	15.49	2.60	8.94	27.03	11.41	17.99	7.59	235.25	99.27
	46		1.00234	0.99236	0.4057	90.0	90.67	24.65	73.95	189.27	76.79	15.33	2.58	8.96	26.87	10.90	17.85	7.24	234.00	94.94
22年目 H	47 0.98920		1.00234	0.99231	0.3901	0.06	89.70	24.50	74.13	188.32	73.47	15.16	2.57	8.99	26.71	10.42	17.72	6.91	232.75	90.80
	48		1. 00233	0.99225	0.3751	0.06	88.73	24.34	74.30	187.37	70.28	15.00	2.55	9.01	26.55	96.6	17.58	09.9	231.50	86.84
	49	$\dashv$	-+	0.99218	0.3607	90.0	87.76	24.18	74.47	186.41	67.24	14.83	2.53	9.03	26.39	9.52	17.45	6.29	230.25	83.05
25年目 H	50 0.98884	84 0. 99339	1.00232	0.99212	0.3468	90.0	86.79	24.02	74.65	185.46	64.32	14.67	2.52	9.05	26.24	9.10	17.31	00.9	229.00	79.42
	51	+	-	0.99206	0.3335	90.0	85.82	23.86	74.82	184.50	61.53	14.51	2.50	9.07	26.08	8.70	17.17	5.73	227.75	75.95
78年日 日	52 0.98859	59 0.99330	1.00231	0.99200	0.3207	0.06	84.80	23.70	75.17	183.33	28.80	14.34	2.48	9.09	25.92	7.94	16 90	5.21	220.31	69.45
	0.0	+	1 00030	0.99193	0.3003	0.00	00.00	42.53	71.07	101.64	20.30	14.10	2.47	9.10	25.70	7.50	16.30	707	223.20	09.40
	24	+	1.00230	0.99187	0.2905	90.0	82.92	23.38	75.34	181.04	33.83	14.02	2.45	9.13	25.60	1.39	16.63	4 6.9 v	224.01	00.41
	.0 O	+	1.00230	0.99180	0.285	90.0	81.93	23.23	75.51	120.09	20.00	13.83	2.43	9.13	25.44	cZ./	16.40	4.74	222.70	03.50
37年日 日		04 0. 99312	1.00229	0.991/3	0.2741	0.06	80.98	22.07	75.86	178.78	49.20	13.52	2.42	9.17	25.28	6.93	16.35	4.32	220.26	58.05
	58	╁	1 00228	0 99159	0.2534	0.06	79.05	22.75	76.03	177.83	45.06	13.36	2.38	9.22	24.96	6.33	16.22	4.11	219.01	55.50
	59	-	1.00227	0.99152	0.2437	90.0	78.08	22.59	76.21	176.88	43.10	13.20	2.37	9.24	24.80	6.04	16.08	3.92	217.76	53.06
35年目 H		44 0. 99292	1.00227	0.99145	0.2343	0.06	77.11	22.43	76.38	175.92	41.22	13.03	2.35	9.26	24.64	2.77	15.95	3.74	216.51	50.73
36年目 H	91		1.00226	0.99138	0.2253	90.0	76.14	22.27	76.55	174.97	39.42	12.87	2.33	9.28	24.48	5.52	15.81	3.56	215.26	48.50
	62 0.	0	1.00226	0.99130	0.2166	0.06	75.17	22.11	76.73	174.01	37.70	12.71	2.32	9.30	24.32	5.27	15.67	3.40	214.01	46.36
	63	+	1.00225	0.99122	0.2083	90.0	74.20	21.96	76.90	173.06	36.05	12.54	2.30	9.32	24.16	5.03	15.54	3.24	212.76	44.32
39年日 H	64 0.	78 0. 99272	1.00225	0.99115	0.2003	0.00	73.24	21.80	77.07	172.11	34.47	12.38	2.28	9.34	24.01	4.81	15.40	3.08	211.51	42.36
		+	1.00224	0 99107	0.1920	0.09	71.30	21.04	77.42	170.90	31.52	12.05	2.27	9:30	23.69	4.39	15.13	2.80	200.20	38.70
	67	+	1.00223	0 99090	0.1780	0.06	70.33	21.32	77.59	169.25	30.13	11 89	2.23	9.30	23.53	4 19	14.99	2.67	203.21	36.99
	68 0	+	1 00223	0 99082	0.1712	0.06	69.36	21.16	77.77	168.29	28.81	11.72	2.22	9.43	23.37	4.00	14.85	2.54	206.51	35.35
	69	0	1. 00222	0.99074	0.1646	90.0	68.39	21.00	77.94	167.34	27.55	11.56	2.20	9.45	23.21	3.82	14.72	2.42	205.26	33.79
45年目 H	70 0.	-	1.00222	0.99065	0.1583	0.06	67.43	20.84	78.11	166.38	26.34	11.40	2.18	9.47	23.05	3.65	14.58	2.31	204.02	32.29
46年目 H		0	1. 00221	0.99056	0.1522	90.0	66.46	20.69	78.29	165.43	25.18	11.23	2.17	9.49	22.89	3.48	14.45	2.20	202.77	30.86
47年目 H	72 0.	0	1.00221	0.99047	0.1463	90.0	62.49	20.53	78.46	164.48	24.07	11.07	2.15	9.51	22.73	3.33	14.31	2.09	201.52	29.49
	73	0	1.00220	0. 99038	0.1407	90.0	64.52	20.37	78.63	163.52	23.01	10.91	2.13	9.53	22.57	3.18	14.17	1.99	200.27	28.18
49年目 H	74 0.984/6	/6 0.99214	1.00220	0.99029	0.1353	0.06	63.55	20.21	78.81	162.57	22.00	10.74	2.12	9.55	22.41	3.03	14.04	1.90	199.02	26.93
抽							4,193.74	1,200.35	3,652.49	9,046.58	3,802.97	708.86	125.78	442.73	1,277.37	539.82	842.66	360.76	11,166.61	4,703.55

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (海老名~厚木)	4	10.1 km

#### ■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					128,500	
	改良費				16,017	
		土工	m3	1,490,746	2,295	切土(614,521m3)、盛土(876,225m3)
		軟弱地盤改良工	m²	346,500	4,191	
		法面工	m2	19,420	465	
		擁壁工	式	1	646	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	箇所	3	105	
		函渠工	m	331	391	
		排水工	m	20,803	537	
		中央分離帯工	m	2,500	110	
		雑工	式	1	7,277	機能補償道路(28,457m)、水路(6,256m)、歩道橋
	橋梁費	•			68,285	
		100m以上	m	14,229	63,902	
		100m未満	m	988	4,383	
	トンネル費	1			15,983	
		NATM	m	1,241	6,444	
		シールド	m	530	9,539	
	IC・JCT費	1			18,689	
		IC	箇所	3	18,689	トランヘット型
		JCT	箇所	_		
	舗装費	•			1,625	
		車道舗装	m2	250,800	1,625	
		歩道舗装	m2	_		
	附帯施設費	•			7,901	
		交通管理施設工	式	1	2,158	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	19,144	5,743	
②用地及	補償費	•	式	1	69,490	
	用地費		m2	540,609	38,972	
		宅地	m2	133,515	15,087	
		田畑	m2	156,288	7,658	
		山林·原野	m2	415	9	
		その他	m2	250,391	16,218	
	補償費		式	1	30,518	
③間接経	費		式	1	22,910	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業	費				220,900	

- 【単価等について】 ○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用 ○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (海老名~厚木)	4	10.1 km

#### ■事業費内訳(残事業)

区分	内訳(残爭業) 費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費		•			64,268	
	改良費				4,694	
		土工	m3	467,000	889	切土(48,000m3)、盛土(419,000m3)
		軟弱地盤改良工	m²	_	0	
		法面工	m2	14,000	8	
		擁壁工	式	1	433	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	箇所	3	0	
		函渠工	m	40	52	
		排水工	m	18,047	410	
		中央分離帯工	m	2,500	110	
		雑工	式	1	2,792	機能補償道路(11,458m)、歩道橋
	橋梁費				32,015	
		100m以上	m	11,783	30,730	
		100m未満	m	988	1,285	
	トンネル費				1,945	
		NATM	m	1,241	505	
		シールド	m	159	1,440	
	IC∙JCT費				16,088	
		IC	箇所	3	16,088	トランペット型
		JCT	箇所	_	_	
	舗装費				1,625	
		車道舗装	m2	250,800	1,625	
		歩道舗装	m2	_	_	
	附帯施設費	i <b>r</b>			7,901	
		交通管理施設工	式	1	2,158	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	19,144	5,743	
②用地及			式	1	3,896	
	用地費		m2	1,949	161	
		宅地	m2	978	112	
		田畑	m2	_	_	
		山林•原野	m2	_	=	
		その他	m2	971	49	
	補償費		式	1	3,735	
③間接経			式	1	5,378	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業	費				73,542	

- 【単価等について】 ○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用 ○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (海老名~厚木)	4	10.1km

# ■維持管理費内訳

	金額	備考
	(百万円/年)	F. 118
平成25年度	578	
平成26年度	588	
平成27年度	591	
平成28年度	596	
平成29年度	597	
平成30年度	601	
平成31年度	605	
平成32年度	605	
平成33年度	609	
平成34年度	610	
平成35年度	611	
平成36年度	615	
平成30年度		
	623	
平成38年度	628	
平成39年度	633	
平成40年度	637	
平成41年度	642	
平成42年度	646	
平成43年度	648	
平成44年度	652	
平成45年度	656	
平成46年度	658	
平成47年度	662	
平成48年度	662	
平成49年度		
	662	
平成50年度	665	
平成51年度	669	
平成52年度	674	
平成53年度	674	
平成54年度	676	
平成55年度	672	
平成56年度	669	
平成57年度	668	
平成58年度	666	
平成59年度	663	
平成60年度	659	
平成61年度	655	
平成61年度	764	
平成63年度	657	
平成64年度	654	
平成65年度	651	
平成66年度	649	
平成67年度	647	
平成68年度	643	
平成69年度	641	
平成70年度	639	
平成71年度	635	
平成72年度	634	
平成73年度	631	
平成74年度	628	
1 % / 寸十尺	028	

道 企 第 2 3 号 平成 2 3 年 8 月 4 日

国土交通省関東地方整備局長 下保 修 様

神奈川県知事 黒岩



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に 係る意見照会について(回答)

平成23年7月20日付け国関整企画第87号で照会のありました標記について、別添のとおり回答します。

問い合わせ先

道路企画課国道調整グループ 土屋 電話 045-210-6423 (直) (再評価) (回答様式)

# 【道路事業】

事 業 名	「対応方針(原案)」案 ※	神奈川県知事の意見
一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 (海老名~厚木)	継続	別紙のとおり

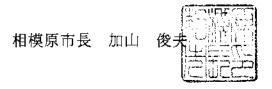
<sup>※</sup> 貴県の意見を踏まえ、関東地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案) を作成するためのものです。

### (別紙)

一般国道468号首都圏中央連絡自動車道(海老名~厚木: さがみ縦貫道路)は、新東名高速道路や横浜湘南道路等と一体となって、自動車専用道路ネットワークを形成し、県土構造の骨格を担う大変重要な路線である。さがみ縦貫道路の整備によって、地域経済の活性化はもとより、災害時の救援活動や円滑な物資輸送を支えるなど、県民や企業の期待も大きく、引き続き、本事業を強力に推進し、早期整備を図られたい。

FNo. 8·2·4 平成23年 8月 3日

国土交通省関東地方整備局長 下保 修 様



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成 に係る意見照会について(回答)

平成23年7月20日付け国**関整企画第87号**で照会のありました標記について、 別添のとおり回答します。

事業担当:都市建設局土木部

土木政策課

042-769-8373 (直通)

### (再評価)

<相模原市>

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案	相模原市長の意見
一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 (海老名~厚木)	継続	別紙のとおり

<sup>※</sup>貴都の意見を踏まえ、関東地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

#### (別紙)

一般国道468号首都圏中央連絡自動車道(海老名~厚木:さがみ縦貫道路)は、国道16号、国道129号等の混雑を緩和する路線として期待される重要な路線である。市内の(仮称)相模原インターチェンジ周辺地区では、産業用地の創出等を目的とした土地区画整理事業などによる新たな拠点整備に取り組んでおり、また、インターアクセス道路である県道52号相模原町田の整備もインター開設にあわせて鋭意進めている。ついては、平成24年度の完成目標に遅れることなく、引き続き、本事業を強力に推進されたい。